

医学系研究科の教育目標及び3つのポリシーについて

【教育目標】

山形大学大学院の教育目標を踏まえ、医学系研究科では、豊かな人間性と社会性、幅広い教養と汎用的技能を基に、専門分野での最先端の深化した知識と技能を習得できる人材の育成に取り組みます。また、それらに基づき、広い視野から自ら研究の立案・遂行・統括する能力を体得し、高度な専門職従事者として、新領域を切り拓く人材を育てることを目標としています。

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、医学系研究科では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士・博士」の学位を授与します。

1 高度な専門職従事者としての知識と技能

- (1) 専門分野における学術上の高度な概念や原理を体系的に理解している。
- (2) 専門職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を得ている。
- (3) 自身の持つ知識・技能を多角的に捉え、幅広い学識により諸課題への対応力がある。

2 課題解決能力・新領域の開拓能力

- (1) 現在の社会状況を理解し、取り組むべき課題等の判断及び行動ができる。
- (2) 広い視野から研究の立案・遂行・統括することができる。
- (3) 自身が取り組むべき課題を基に、新たな研究領域にも挑戦できる能力を身に付けている。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、医学系研究科では、学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1 教育課程の編成・実施等

- (1) 高度な専門職従事者としての知識と技能を体得するために、体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
- (2) 専門性の一層の向上を図ると共に幅広い学識を涵養する授業等を大学院学生が体系的かつ主体的に学習できるように適切に組み合わせる。

- (3) 研究に対して、専門的かつ多面的な考察をするために、適切な助言・指導を行う。

2 教育方法

- (1) 生涯を通じて主体的に学び続ける動機づけとなるような、多様で学際的な知識と技能が身につく教育を展開する。
- (2) 学生の出身分野に応じて、医学系の学力の定着を目的とした教育を行う。
- (3) 自ら課題を発見して、解決に向けて探求し、成果を表現する能力を培うため、協働による参加型、対話型の学生主体の授業を拡充する。

3 教育評価

- (1) 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定する。
- (2) 医学の進歩に資する知識と技能、さらには主体的・自律的に学問に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

医学系研究科は、自ら考え解決する力を持つ人間性豊かな医療人・研究者・技術者等を養成するため、医学専攻、先進的医科学専攻及び看護学専攻を設置しています。

医学専攻及び看護学専攻は、医学又は看護学を広く修め、専門領域における高度の研究能力と豊かな学識を備えた医療人を育成するとともに、広く各方面において、将来の指導的役割を果たす人材の育成を行います。

また、先進的医科学専攻は、医学部出身者のみならず薬学、理学、工学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野からの学生を受け入れ、21世紀を先導できる創造力と応用力及び実行力に富んだ高度な研究者、高度専門医療従事者及び高度研究支援技術者を育成します。

医学系研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 病気の治療や予防により、人の健康を維持、増進することについて、強い意欲のある人
- ・ 専門領域において高い問題意識を持ち、自身の研究能力を積極的に向上させる意欲のある人
- ・ 様々な分野の研究者と協力し合い、諸課題に対する有効で具体的な解決策の探求を行う意欲のある人

以上のような観点から各課程（各専攻）では、次のような学生を求めています。

博士前期課程

（先進的医科学専攻）

先進的医科学専攻では、放射線治療を担当する放射線腫瘍医や医学物理士など、幅広く放射線生物学、放射線防護学を専門とする者を育成する「放射線未来科学」、地域に根差したゲノムコホート研究=山形県コホート研究（Yamagata Study）を基盤とした個別化医療実現のための教育、研究を行い、疫学・生物統計学、遺伝子医学、公衆衛生学や医療政策学などを専門とする者を育成する「分子疫学」、創薬・医療機器開発をシステムティックに推進する人材育成・研究を専門とする者を育成する「創薬・システム医科学」の3つのコースがあります。薬学、理学、工学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野の出身で、これらの学問領域を学び、修得して社会に還元する意欲のある学生を受け入れます。

先進的医科学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 脳卒中に加えてがん、心筋梗塞、生活習慣病、認知症等、社会的に大きな問題となっている疾患を対象とした研究について、診断・治療の開発に関わるシーズ探索から実地臨床応用までの一連のプロセスを理解し、医学・医療の問題について具体的な解決策の探求に意欲のある人
- 各種疾患領域や医療の諸課題のため、医学のみならず行政・薬学・理学・工学・農学等の視点から有効で具体的な解決策を探求し、新たな産業技術の創出及びその海外における展開に貢献する意欲のある人
- 健康で豊かな社会の実現を目指してトランスレーショナルリサーチの修得に意欲のある人
- 遺伝学と統計学の専門知識を併せ持つ生物統計学の修得に意欲のある人
- 低侵襲の次世代がん治療である重粒子線治療をはじめとした、粒子線治療のさらなる進歩・発展に寄与する意欲のある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（筆記試験、口頭試問、出願書類を総合して判定）

(看護学専攻)

看護学専攻では社会や看護界の要請に応えるため、高度の判断能力と実践力を身につけた高度実践看護職者の養成、並びに教育研究者の養成を目的としています。

看護学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 専攻したい看護領域における基礎知識を身につけている人
- 倫理観を備え、科学的根拠に基づき、主体的に課題に取り組む意欲や探究心がある人
- 広く学識の涵養に努めるとともに、教育・研究・看護実践活動にリーダーとして貢献する意志がある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（筆記試験、口頭試問、出願書類を総合して判定）
- (2) 社会人入試（筆記試験、口頭試問、業績の評価、出願書類を総合して判定）